

3 支援内容及び効果等

支援	事業者選定時における企画提案 (事業計画書)の概要	支援状況(実績)及び効果		左記の状況及び効果を踏まえた課題分析と今後の改善策等	
事業の実施体制等	(1)自由提案による地域支援の実施状況	＜支援状況＞ ○区役所と連携・協働し、地域の現状分析と今後の支援方針を整理した「地域カルテ」の策定 ○「地域カルテ」の地域・区役所(まちづくりセンター)の共有 ○地域が描く将来像「仮」地域将来ビジョン」策定や地域活動協議会等支援メニューとのマッチングによる協働まちづくりに向けた推進支援 ○新たな担い手となる参加者との地域活動を考えるテーマ別勉強会の企画・開催	＜支援効果＞ ○地域課題や地域ニーズを地域カルテに位置付け、地域の実状に応じた個別の支援により、地域課題の解決に向けた展開されている。	＜課題分析＞ ○地域の状況に応じた取組が話し合いのもと行われている。	＜今後の改善策等＞ ○様々な市民から気軽に意見集約できるしくみづくりが必要である。
	(企画提案書(事業計画書)等で受託者が提案したもの)	○地域活動協議会の目指す姿に向けた支援 【地域の実状に応じた個別の支援】 …地域に合わせた広報活動強化支援 …地域ネットワークの強化支援 …新しい取組の発掘を支援	○連携や協働による新たな事業展開について …学校と連携し土曜授業を活用した防災訓練が実施された。(九条北) ○地域活動協議会の目指す姿に向けた取り組みが行われた。 …連合振興町会と地域活動協議会の協働によるHPの立上げ(西船場・江戸堀・広教・日吉) …地域紹介HPの運用と内容の充実にもつれた広報の拡充(靱・明治・西六・堀江) …SNS等を活用した地域活動の発信について意見交換を行い、再活用と再導入の検討が進められた。 (本田・九条南・九条北) …SNS等の活用に先立って、地域広報紙の立ち上げが行われた。(九条南) …地域自らによる広報活動に向けた企画・立案・取組 ・地域ホームページ…西船場・江戸堀・靱・明治・広教・堀江・日吉 ・SNS等…本田・九条南・九条北 ・その他…高台・九条東 …町会加入ポスター等の地域ニーズに合わせた広報物の作成(13地域) …掲示板や回覧等を活用した町会加入啓発の実施(西船場・江戸堀・靱・明治・広教・堀江・高台・日吉・本田・九条南) …夏祭り、町会加入のお知らせポスターのマンションでの掲示(広教) …事業に合わせた町会加入啓発の実施(西船場・江戸堀・明治・広教・堀江・高台・日吉・本田・九条南・九条北) …アナログラムを利用した地域活動の継続的な発信(13地域) ○地域課題やニーズに対応するための活動を実施 …町会費や事業参加費の徴収に向けた電子決済システムの試験導入(広教) …自主財源確保に向けたクラウドファンディングの試験導入(堀江) …納涼夏祭り実施に合わせた企業との連携(江戸堀) …企業向け広報強化による地域清掃の企業連携拡大(明治)	○地域カルテを活用した地域支援の課題 ・地域ごと課題認識に差がある。 ・課題を認識しつつも人材不足や高齢化により取り組みにつながっていない地域もある。 ・地域だけでは解決できない課題もある。 ・地域の状況に合わせて、地域課題を抽出し具体的な取り組みを行っていく必要がある。	○地域の自律を目指した要望(展開)に対し、地域の熟度や課題に応じた支援や場のコーディネートを行う必要がある。 (ファシリテーション手法、連携協働、ネットワークづくり、活動推進等の支援、担い手育成) ○地域活動の場に第3者の役割として参加し、事業に対する意見・企画立案を継続して行う必要がある。 ○マンション管理会社や組合、住民へ地域活動を周知していくことは重要であり、各地域の課題意識や共有なども並行し、区や地域と協働でアプローチしていく体制づくりを目指す必要もある。
	1. 地域課題への取組を支援	【まちづくりセンターの活動による支援】 …多様な主体のへのアプローチ(参加、参画) …多彩なテーマ提案による情報共有会・勉強会による取組のきっかけづくり …地域カルテの共有・活用による現況の共有支援 …地域の魅力発信等のより良い地域情報発信に向けた広報支援	○多様な主体のへのアプローチ(参加、参画)について …広報紙「まちセンだより」の地域と協働による紙面作成を通じて、これまでつながりが薄かった若い世代、新規住民、地縁団体、企業等へ地域活動協議会や地縁団体活動の周知が行われた。(13地域) 【多彩なテーマ提案による情報共有会・勉強会による取組のきっかけづくり】 …写真とひとことで行うアナログな広報ツール「アナログラム」を通じて、地域資源の再発掘や再確認、広報のルールに精通した人材育成が図られた。(13地域) …地域自らによる広報活動に向けた企画・立案・取組に合わせて、地域に合わせた個別の勉強会(レクチャー)が実施された。 ・広報体制の再整理(江戸堀・広教・高台・日吉・本田・九条南・九条北) ・広報の手法充実(靱・堀江・明治・広教) ・広報媒体の立上げ(西船場・江戸堀・広教・日吉・九条南) ・新たな対象に向けた広報(江戸堀・広教) ・地域行事に合わせた活動紹介ブースの設置(千代崎)	○地域活動協議会の広報媒体の他に、地域にはさまざまな広報手段があり、相互連携をすることでより効果的な発信につなげていくことも考えられる。また、分譲マンション住民は、活動への参加・参画意向が高い住民もあり、より多くのマンションで実施していくことが望まれるため、地域との連携・協力が不可欠である。	○今後、特に支援する広報 ・地縁団体やNPO、企業との連携、協働した広報 ・マンション住民や管理組合、管理会社等に向けた広報 ・予算決算や議決事項等の地域活動協議会の運営透明化に向けた広報
		【地域活動協議会の形成支援・運営支援】 …地域活動協議会の運営支援 地域活動協議会の事務機能の強化・支援 西区まちづくりセンターと地域の協働による広報 西区まちづくりセンター開設業務(相談窓口の開設) 役員改選等にもなう初動支援等の地域活動協議会運営事務支援 …よりよい地域の将来ビジョンに向けた魅力再検証	○様々な活動主体が連携・協働する運営委員会や地域定例会議のとりくみ・運営支援 …地域の定例会や実行委員会、研修会等への参加及び助言 …支援員研修会でのテーマ別意見交換	○地域活動協議会の事務機能の強化・支援について …PCTラブルの相談窓口を活用し、情報技術の習得が行われている。(13地域) ○役員交代に伴う制度説明については、地域の状況に応じたきめ細やかな支援により、適切な運営が進められた。(広教・明治・本田・九条南)	○SNSを通じての広報はその趣旨や大切さについてはより理解は進んでいるが、“情報を投稿する”という作業にスマートフォンやPCなどの扱いによる不得手が障害となっている。

3 支援内容及び効果等

支援		事業者選定時における企画提案 (事業計画書)の概要	支援状況(実績)及び効果		左記の状況及び効果を踏まえた課題分析と今後の改善策等	
		2. つながりの拡充を支援	<支援状況> ○ニーズに適した広報手段の立案・実現の支援 ○4つの多様なつながりの拡充を支援 a.地域に合わせた広報活動強化支援(広報紙、WEB活用等) b.地域ネットワークの強化支援 c.多彩なテーマの情報共有会・勉強会の開催 d.多様な主体へのアプローチ(参加、参画)	<支援効果> ○日頃の地域情報を発信し、地域活動を身近に感じてほしいというニーズにあたり、まちづくりセンターが運営する日頃の地域情報プラットフォーム「アナログラム」の構築を行い運営推進された。 ○地域課題やニーズに対応するための活動を実施 …町会費や事業参加費の徴収に向けた電子決済システムの試験導入(広報) …自主財源確保に向けたクラウドファウンディングの試験導入(堀江) …納涼夏祭り実施に合わせた企業との連携(江戸堀) …企業向け広報強化による地域清掃の企業連携拡大(明治)		
		3. 地域活動協議会運営の支援	<支援状況> ○役員改選等にとまなう初動支援等の地域活動協議会運営事務支援 ○地域活動協議会の運営支援 a.地域活動協議会の事務機能の強化・支援 b.西区まちづくりセンターと地域の協働による広報 c.西区まちづくりセンター開設業務	<支援効果> ○民主的な会議運営が行われている。 ○地域状況に応じた会議手法が地域自身が選択し開催された。	<課題分析> ○地域では、これまでの実績をふまえ、多くの地域で自律に向けた運営がすすめられている。 ○地域活動協議会運営の実績を重ねるにあたり、構成員や役員の変更に伴う事務の引き継ぎ等が生じ、前任者等による引継ぎ事務等の支援を行っている。 ○活動の広報にあたっては、SNSの活用など、様々な広報ツールを活用した幅広い広報が求められている。	<今後の改善策等> ○幅広い担い手参加を図るにあたり、担い手の負担軽減は重要なテーマであり、円滑な地域活動協議会運営にあたり、事務の定型化等によりわかりやすい運営事務の推進支援が必要である。 ○新しい手法の活用効果の分析や地域への情報提供、導入支援等が必要である。
		各地域への主な支援の概要	<支援状況> ○地域の活動状況等の現況に応じた支援の実施 ・地域の課題・状況・ニーズに応じ、地域に応じた支援を実施 ○自治会・町内会(第一層)への活動支援や加入促進等、地域活動協議会の基盤強化 ・地域の掲示板を活用した地域活動と地域活動協議会の紹介 ・西区の紹介マップ&地域の窓口連絡先一覧 ・SNS(フェイスブックおよびインスタグラム)の運営 ・地域の醸成度や要望に応じた地域自らによる広報活動の強化 ・地域活動協議会の紹介パンフレット ・より魅力的な広報を目指した地域行事広報の見直し支援 ・地域行事での出店ブースに向けた材料提供	<支援効果> ○マンションコミュニティ等とのつながりづくりや子育て支援、地域ができる防災など、幅広い地域ニーズに応じて、情報提供・立案・実施を支援した。 ○運動会・お祭り等における小・中学校や専門学校との連携促進が図られた。	<課題分析> ○これまでのまちづくりセンターによる各地域への支援を通じて築いてきた役員・構成員をはじめとした地域の担い手との信頼関係により、地域ニーズの変化にあたって、迅速に対応することができている。	<今後の改善策等> ○地域やまちづくりセンタースタッフの安全・安心を確保した支援のかたちを検討・整理する必要がある。
	(2-1)スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制	○アドバイザー ・西区まちづくりセンター及び各地域、本社等において業務 ○地域まちづくり支援員(常駐勤務) ・月間116時間(週3日)程度常駐勤務を2人以上で実施 ・地域の会議や運営、活動に合わせて臨機応変に対応 ○地域まちづくり支援員(テーマ別支援) ・月76時間(週2日)程度の開設時間外に実施 ○地域まちづくり支援員(配置要件のあるもの) ・月45時間以上の勤務 ・地域の会議や運営、活動に合わせて臨機応変に対応	<支援状況> ○アドバイザー 3人(業務責任者含む)を配置 ○地域まちづくり支援員(常駐勤務) 2人を配置 ○地域まちづくり支援員(テーマ別支援) 2人を配置 ・リモートワーク等を活用し、各自の特技や能力に応じてアドバイザーの指示のもと作業が行われている。 ○地域まちづくり支援員(地域派遣) 4人を配置 ○各スタッフのスキル等を考慮した地域・業務を分担 ○支援員によるアドバイザーのサポートによる業務を推進	<支援効果> ○それぞれの担当地域および担当業務を中心にスタッフ相互のサポートにより、円滑に業務を実施している。	<課題分析> ○常駐支援・地域担当支援により、円滑な地域活動協議会運営の推進を支援できている。 ○地域活動協議会活動の成熟化により、まちづくりセンターに求められる業務に変化の兆候が見られる。 ・日頃の事務運営を含む常駐体制によるサポートから、地域課題や特性に適したサポートへと変化	<今後の改善策等> ○まちづくりセンターでのサポート体制を効果的に活用する支援策として、新しい地域広報「アナログラム」の設置・運営など、地域活動のプラットフォームとなる新たな取組の立案・推進を進めたい。
	(2-2)フォロー(バックアップ)体制等	○事務責任者、業務責任者(アドバイザー兼務)、アドバイザーそれぞれの適切なフォロー体制を構築	<支援状況> ○事務責任者、業務責任者(アドバイザー兼務)によるもの、およびアドバイザー相互によるもので、適宜フォロー体制の構築	<支援効果> ○適宜、地域担当の見直しや勤務体制の変更などにより、円滑に業務を実施している。	<課題分析> ○地域の状況に応じた情報収集と情報共有、意見交換、適切なフォロー体制の構築が望まれる。	<今後の改善策等> ○事業中止と事業計画の変更に伴う地域意向の具体化と事務手続きの迅速化